

# 「カフェ・ソフトウェアクオリティ」 開催SIG

## 2017年度活動計画書 (兼 設立趣意書)

Rev. 1.0 2017/04/03(月)  
SIGリーダー 和田信吾

# 当SIGの名称・目的・目標

## ▶ SIG名称

- ▶ 「カフェ・ソフトウェアクオリティ」開催SIG

## ▶ 当SIGの目的

- ▶ ソフトウェア品質に関する勉強会「カフェ・ソフトウェアクオリティ」を開催すること。

## ▶ 当SIGの目標

- ▶ 開催する勉強会を、参加者にとって有意義なものにする。
- ▶ ソフトウェア技術者が「社外の人とソフトウェア品質について会話する」場を増やす。

# 当SIGの活動内容

- ▶ SIGの活動内容と成果物
  - ▶ 勉強会の年間開催計画の立案
  - ▶ 各勉強会の実施
    - ▶ 開催準備
    - ▶ 告知
    - ▶ 当日作業
    - ▶ トーカーへのアンケート等フィードバック
  - ▶ SQiPコミュニティ参加者による個別勉強会開催の支援活動
    - ▶ 勉強会の内容に関するアドバイス
    - ▶ 勉強会開催実務（準備、告知等）の支援

# 当SIGのメンバー

## ▶ SIGメンバー (2017年4月1日時点)

氏名	所属	リーダー
和田 信吾	東洋ビジネスエンジニアリング株式会社	○
小島 義也	エプソンアヴァシス株式会社	
大野 泰代	株式会社オープンストリーム	
牛渡 幸恵	ソーバル株式会社	
鈴木 準一	富士通株式会社	
岩佐 賢	富士通株式会社	
橋詰 隆裕	SCSK株式会社	



# 当SIGのメンバー

- ▶ メンバーの募集
  - ▶ 随時
- ▶ メンバーの受付先
  - ▶ [cafe-swq-query@juse.or.jp](mailto:cafe-swq-query@juse.or.jp)

# 勉強会開催日程

## 開催日程

回次	日程	会場
第44回	4/13(木)	日科技連 東高円寺ビル 3階A研修室
第45回	5/18(木)	日科技連 東高円寺ビル 3階A研修室
第46回	6/15(木)	日科技連 東高円寺ビル 3階A研修室
第47回	7/13(木)	日科技連 東高円寺ビル 3階A研修室
第48回	10/19(木)	日科技連 東高円寺ビル 3階A研修室
第49回	11/16(木)	日科技連 東高円寺ビル 2階講堂
第50回	12/14(木)	日科技連 東高円寺ビル 2階講堂
第51回	1/18(木)	日科技連 東高円寺ビル 3階A研修室
第52回	2/15(木)	日科技連 東高円寺ビル 3階A研修室







# Appendix





# 当SIGの理念

ソフトウェア品質に関する「組織のカベを超えた交流」の機会には、大きな意義があります。

なぜなら、組織の中に閉じこもっていても、視野が広がらず、気づきを得るチャンスが広がらないからです。

私達は、より多くのソフトウェア技術者に、

「社外の人とソフトウェア品質について会話することには、こんなに意義があり、そして楽しい」

ということを知ってもらいたいと考えています。

「品質について会話し、気づきを得る場」として、SQuBOKユーザー会は、「勉強会」を開いてきました。

- ・発表者が、自分の抱えている問題や悩み、また新しいアイデアについて、考えをまとめて発表する。
- ・参加者は、発表内容について感じたこと考えたことを、発言する。
- ・それを聞いた発表者や他の参加者が、自分の考えを述べ、対話を深めていく。

# 当SIGの理念

勉強会を、SQiPコミュニティのSIGとしてリニューアルするにあたり、その名称を、

「カフェ・ソフトウェアクオリティ」

とします。

「カフェ」とは、

- ・誰でも自由に、対等な立場で参加する。
- ・講師が教授するのではなく、参加者が主体的に会話・議論する。
- ・知識を持ち帰るのではなく、気づきを持ち帰る。

ことができる場です。

また、「知識を持ち帰る」勉強会を否定するわけではありません。

それにも、高い価値があります。

私たちは、それらを「特別講座」と呼び、開催を支援します。

# 当SIGの理念

勉強会を継続して開催することを通じて、

- ・ 大きな「入れ物」としての、メールベースの「SQiPコミュニティ」があり、
- ・ 「対話による気づき」を重視する、私達の勉強会があり、
- ・ 気づきにより刺激を受けた人が、  
新しくSIGを立ちあげたり、  
SQiPのセミナーや研究会に参加したり、  
社内で勉強会を開いたり  
する。

このような「ソフトウェア品質を学ぶ人が増えていく」大きな流れを作りたいと、私達は考えています。

# 勉強会のねらい

- ▶ 参加者が対話することで、刺激やヒントを得る。
- ▶ 参加者間での意見交換や議論を通じて、自分がいままで気が付かなかった、新たな視点に気づく。
- ▶ 参加者間での意見交換や議論を通じて、自分の考えが、他の参加者とずれていること、またはずれがないことに気づく。
- ▶ 講師から何かを一方向的に教えてもらう場ではない。

# 過去の開催実績

## ▶ 2012年

- ▶ 第1回：信頼度成長曲線
- ▶ 第2回：レビューの質
- ▶ 第3回：GQM
- ▶ 第4回：もう少し聞きたいSQiPシンポジウム
- ▶ 第5回：レビューについて

# 過去の開催実績

## ➡ 2013年

- ➡ 第6回：データの活用
- ➡ 第7回：システム、単体テスト
- ➡ 第8回：失敗学、バグ票
- ➡ 第9回：時間管理、テスト管理
- ➡ 第10回：BABOK、軽品質
- ➡ 第11回：品質特性とテスト、人間性重視
- ➡ 第12回：もうちょっと聞きたい SQiPシンポジウム2013
- ➡ 第13回：アドバンストマネジメント、トーク主体の学習を考える
- ➡ 第14回：ユーザビリティテストティング



# 過去の開催実績

## ➡ 2014年

- ➡ 第15回：「レビューのテスト化」
- ➡ 特別：ODC
- ➡ 第16回：派生開発
- ➡ 第17回：品質エンジニアのスキル育成、ソフトウェア品質管理の人的要素
- ➡ 第18回：安楽椅子探偵のすすめ、レビューの「底上げ」
- ➡ 第19回：「ビジネスは愛! ならば品質も愛なのか!!」、  
「データ指向のワークライフバランスマネジメント」
- ➡ 第20回：「マジックワード」 & 「仕様理解」
- ➡ 第21回：「もうちょっと聞きたい SQiPシンポジウム 2014」



# 過去の開催実績

## ➡ 2014年(続き)

- ➡ 第22回：「短納期でのテスト」 & 「結合試験の期間と品質向上」
- ➡ 第23回：「ソフトウェア品質を自ら学ぶ人を増やすために、私達には何が出来るか？」

# 過去の開催実績

## ➡ 2015年

- ➡ 第24回：「自社内で開く「カフェ・ソフトウェア・クオリティ」勉強会」（Data Scientist meets Software Quality、「品質・テストの専任体制への道」）
- ➡ 第25回：「チームの境界線とソフトウェア品質」&「地獄のレビュートレーニング ～妄想編～」
- ➡ 第26回：「黙って座ればぴたりと当たる欠陥特性の話」&「ソフトウェア品質技術者試験合格への道」
- ➡ 第27回：「テストチームの成長」
- ➡ 第28回：「若手レビューア育成物語」
- ➡ 第29回：「ベター・プラクティス・2」&ソフトウェア品質特性（ISO/IEC 25000）を擬人化しよう！」
- ➡ 第30回：中止

# 過去の開催実績

## ➡ 2015年(続き)

- ➡ 第31回：「レジリエンスなシステム」 & 「(続) 品質・テストの専任体制への道」
- ➡ 第32回：「ソフトウェア品質特性(ISO/IEC 25000) 第2弾 大喜利でSQuaREに親しもう！」
- ➡ 第33回：「もうちょっと聞きたい SQiPシンポジウム2015」
- ➡ ネットワーク型データモデルを用いた問題点の可視化と問題分析への応用例 ～SQiP2015の再演+a～&「」
- ➡ 第34回：「使えるテスト計画とは？戦略・段取り・成果物を意識したテスト計画」

# 過去の開催実績

## ▶ 2016年

- ▶ 第35回：「再現と不再現のあいだ」
- ▶ 第36回：中止
- ▶ 第37回：「ODC分析を体験してみよう」
- ▶ 第38回：「「領域」を飛び越えて知識を活かす」
- ▶ 第39回：「もうちょっと聞きたいSQiPシンポジウム」
- ▶ 第40回：「もうちょっと聞きたいSQiPシンポジウムパート2」
- ▶ 第41回：「欠陥モデリングをやってみよう！」
- ▶ 第42回：「成功のなぜなぜ分析：デスマーチを仮想化して、一致団結、鬼退治をしよう！」
- ▶ 第43回：「GSNを活用した技術者能力計測手法の提案」

## 勉強会以外の実績

### ➡ 2015年

- ➡ 「JaSST'15 Tokyo」 コミュニティブース参加

### ➡ 2016年

- ➡ 「JaSST'16 Tokyo」 コミュニティブース参加

### ➡ 2017年

- ➡ 「JaSST'17 Tokyo」 コミュニティブース参加